

平成 22 年 4 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007 ～ 2010

課題番号：19530151

研究課題名（和文）レント・シーキングと内生的関税率

研究課題名（英文）Rent Seeking and Endogenous Tariff Rate

研究代表者

山崎 剛志 (Yamazaki Takeshi)

新潟大学・人文社会・教育科学系・准教授

研究者番号：50313141

研究代表者の専門分野：理論経済学

科研費の分科・細目：経済学・理論経済学

キーワード：レント・シーキング、内生的関税率

1. 研究計画の概要

公共経済学、政治経済学、国際経済学などの様々な経済分野でレント・シーキング・モデルを用いた理論的分析が行われている。レント・シーキング・モデルを詳細に研究し、レント・シーキング・モデルを理論的に発展させることが本研究の目的の一つである。関税率決定のモデルはレント・シーキング・モデルとして表わすことも可能である。関税率決定のためのレント・シーキング・モデルを詳細に分析し、関税率の変化要因等を明らかにすることも本研究の目的である。

2. 研究の進捗状況

研究計画を遂行するための準備的な研究結果ではあるが、その成果は *Public Choice*, *Journal of Economic Dynamics and Control* (JEDC), *Journal of Public Economic Theory* (JPET) の 3 つの国際査読雑誌に掲載された。JEDC 論文ではレント・シーキング・ゲームのナッシュ均衡の安定性を分析し、JPET と *Public Choice* の論文はレント・シーキング・ゲームに異質な経済主体がいる場合の Nash 均衡の存在と一意性を分析した。*Public Choice* の論文では危険回避的な経済主体がいる場合を分析した。本研究課題が準拠する最も基本的なモデルでは高関税（関税導入、あるいは禁輸）を支持するグループと低関税（関税導入反対、あるいは貿易自由化）を支持するグループの二つのグループが存在する。基本的なモデルで各グループのメンバーが増えたときに関税率が高くなる確率がどのように変化するか分析し

ている。先行研究ではメンバー数増加はそのグループに不利になることが示されているが、外国企業と自国企業の異質性を導入することにより、メンバー数増加はそのグループに有利となる可能性もあることを示せた。2010 年度は新たに、農産物輸入化と小売店の関係などを上手く記述する、川上、川下モデルにおけるレント・シーキングと関税率の問題を分析した。基本モデルでは外国企業と消費者グループが反高関税グループであったが、新しいモデルでは川上と川下の政治的対立を分析できるようになった。新しいモデルでも各グループのメンバーが増えたときの効果は単調であるとは限らないことを示すことができた。

3. 現在までの達成度

研究の進捗状況の項にもあるように、おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

研究の進捗状況の項で説明した川上、川下モデルに関する研究成果をなるべく早く投稿できるよう努力するつもりである。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 4 件）

① Takeshi Yamazaki, "On the Existence and Uniqueness of Pure-Strategy Nash Equilibrium in Rent-Seeking Games

with Risk-Averse Players – A Cumulative-Best-Reply Approach –", 新潟大学経済論集, Vol.88, pp.51 – 66 (2010), 査読無

② Takeshi Yamazaki, "The Uniqueness of Pure-Strategy Nash Equilibrium in Rent-Seeking Games with Risk-Averse Players", Public Choice, Vol.139, No.3, pp.335 – 342 (2009), 査読有

③ Koji Okuguchi, Takeshi Yamazaki, "Global Stability of Unique Nash Equilibrium in Cournot Oligopoly and Rent-Seeking Game", Journal of Economic Dynamics and Control, Vol.32, No.4, pp.1204 – 1211 (2008), 査読有

④ Takeshi Yamazaki, "On the Existence and Uniqueness of Pure-Strategy Nash Equilibrium in Asymmetric Rent-Seeking Contests", Journal of Public Economic Theory, Vol.10, No.2, pp.317 – 327 (2008), 査読有

[学会発表] (計 3 件)

① Koji Okuguchi, Takeshi Yamazaki, "Global Stability of Nash Equilibrium under Generalized Hahn Conditions", 36th Conference of the EARIE (European Association for Research in Industrial Economics), European Association for Research in Industrial Economics, Ljubljana, Slovenia (2009/9/4)

② Takeshi Yamazaki, "Group-Size Effects on Endogenous Tariff in a Lobbying Contest Model", 35th Conference of the

EARIE (European Association for Research in Industrial Economics), European Association for Research in Industrial Economics, Toulouse, France (2008/9/6)

③ Koji Okuguchi, Takeshi Yamazaki, "Global Stability of Unique Nash Equilibrium in Cournot Oligopoly and Rent-Seeking Game", 34th Conference of the EARIE (European Association for Research in Industrial Economics), European Association for Research in Industrial Economics, Valencia, Spain (2007/9/8)

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]

ホームページ

<http://ecows.econ.niigata-u.ac.jp/~tyamazak/cv.htm>